



平成 28 年 8 月 24 日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
グループ総務部長 原 雄三
(TEL . 03-6735-1001)

2016年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画の一部変更に関するお知らせ

当社 100%子会社の全日本空輸株式会社において、2016 年度下期のANAグループ国際線・国内線航空輸送事業計画の一部を変更いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

2016年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画を一部変更

ANAグループは、2016年度下期の航空輸送事業計画の一部を変更いたします。

ANAグループでは、今年度上期において成田から2都市に新規就航するなど、国際線ネットワークの拡充を進め、日本各地と海外とをより便利に結び、また、堅調な訪日需要及び北米～アジア間の渡航需要の高まりにもお応えする「首都圏デュアルハブモデル」の強化を着実に推進しています。

国際線においては、10月30日より羽田＝ニューヨーク線・シカゴ線・クアラルンプール線に就航するほか、羽田＝ホノルル線・ロサンゼルス線をより利便性の高い運航ダイヤに変更いたします(*1)。また、成田においては、10月30日よりホーチミンシティ線を1日2往復運航に増便し(*2)、日本とベトナムを往来されるお客様のみならず、成田で北米線とお乗り継ぎされるお客様の利便性を大きく向上させます。

(*1)ANA NEWS第16-033号(2016年6月29日付)にて発表済み

(*2)ANA NEWS第16-036号(2016年7月13日付)にて発表済み

また、国内線では、羽田空港発着枠の環境変化に伴い一部の路線を減便いたしますが、需要動向や競争環境に応じた路線便数の最適化と投入機種種の柔軟な調整を推進し、お客様の利便性向上に向け、国内線ネットワークを充実させてまいります。

国内線、国際線、貨物専用便の路線便数、運航機種等の詳細は以下の通りです。

*これらの計画は関係当局への申請・認可を前提としております。

1. 国内線

国内線ネットワークのさらなる拡充を図りつつ、時季ごとの需要動向を踏まえ、路線・マーケットに応じた運航機材の最適化を推進いたします。

(1) 増便

下記以外に中部・伊丹・福岡空港の発着便を中心とした年末年始期間の増便を計画しております。詳細につきましては、ANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝沖縄	2016年10月30日～3月25日	12往復/日	12往復/日	期間増便継続
羽田＝石垣	2016年10月30日～3月25日	2往復/日	1～2往復/日	期間増便継続 ※1
福岡＝沖縄	2016年10月30日～3月25日	9往復/日	8～9往復/日	一部期間増便継続 ※2
沖縄＝宮古	2016年10月30日～3月25日	7往復/日	6～7往復/日	一部期間増便継続 ※3

※1 11月28日～12月1日、12月5日～8日及び12月12日～15日は1往復/日の運航となります。

※2 11月28日～12月26日及び1月10日～3月16日は8往復/日の運航となります。

※3 11月28日～12月26日及び1月10日～3月16日は6往復/日の運航となります。

(2)減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝札幌	2016年10月30日～	18往復/日	17往復/日	
羽田＝米子	2016年10月30日～	7往復/日	6往復/日	
関西＝札幌	2016年10月30日～3月25日	3～4往復/日	2～3往復/日	期間減便 ※4
仙台＝札幌	2016年10月30日～	3～4往復/日	3往復/日	
中部＝旭川	2016年11月10日～12月21日	1往復/日	—	期間運休
中部＝女満別	2016年11月28日～12月21日 2017年1月10日～2月2日	1往復/日	—	期間運休
沖縄＝石垣	2016年10月30日～3月25日	7往復/日	5～7往復/日	期間減便 ※5

※4 11月5日～6日、11月8日～9日及び11月11日～12月26日は2往復/日の運航となります。

※5 11月28日～12月4日及び12月8日～10日・12日・14日・17日～21日は5往復/日の運航となります。

また、12月5日～7日・13日・15日～16日・22日～26日、1月10日～19日及び1月21日～2月9日は6往復/日の運航となります。

2. 国際線

今年2月の日本・米国航空当局間協議において、新たに羽田空港の昼間時間帯(06:00～23:00)における日本～米国間の運航が可能となったことを受け、羽田＝ニューヨーク線及びシカゴ線の運航を開始します。また、アジアと日本及び米国間での渡航需要の高まりを受け、羽田＝クアラルンプール線に新規就航するほか、成田＝ホーチミンシティ線を増便します。これらにより、ANAの国際線ネットワークの利便性がさらに向上します。

また、ANAでは現在、北米(米国本土＋カナダ)・欧州・オセアニアに運航する全ての便において、フルフラットシートを装着したビジネスクラス及びプレミアムエコノミーサービスをご用意しておりますが、アジアにおいても飛行時間が長い東南アジアやインドを運航する便を中心に、ビジネスクラスのフルフラット化及びプレミアムエコノミーサービスの導入を推進してまいります。

2017年1月末までにビジネスクラスのフルフラットシート及びプレミアムエコノミーサービスを提供するアジア路線を7路線10便まで拡大するほか(2016年8月現在は5路線6便)、新たに羽田＝ホノルル線にもビジネスクラスのフルフラットシート及びプレミアムエコノミーシートを装着したボーイング787-9型機を投入いたします。

(1)新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝ニューヨーク	2016年10月30日～	—	7往復/週	新規開設 ※1
羽田＝シカゴ	2016年10月30日～	—	7往復/週	新規開設 ※1
羽田＝クアラルンプール	2016年10月30日～	—	7往復/週	新規開設 ※2
成田＝ホーチミンシティ	2016年10月30日～	7往復/週	14往復/週	※3
羽田＝香港	2016年10月30日～	9往復/週	10往復/週	※4

※1 ANA NEWS 第16-019号(2016年5月12日付)およびANA NEWS 第16-033号(2016年6月29日付)にて発表済み。

※2 ANA NEWS 第16-033号(2016年6月29日付)にて発表済み。

※3 ANA NEWS 第16-036号(2016年7月13日付)にて発表済み。ホーチミンシティ発NH834便も2016年10月30日より運航いたします。

※4 深夜早期時間帯に運航のNH839/NH840を増便(2016年10月30日以降は月・土・日の運航)。

(2) 減便・休止

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝ニューヨーク	2016年10月30日～	14往復/週	7往復/週	※5
成田＝シカゴ	2016年10月30日～	14往復/週	7往復/週	※5
成田＝成都	2016年10月30日～	7往復/週	4往復/週	

※5 ANA NEWS 第 16-033 号(2016 年 6 月 29 日付)にて発表済み。

(3) 機材変更

路線	実施時期	変更前		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田＝シアトル	2016年10月30日～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	
成田＝バンコク	2016年10月30日～	B777-200ER B787-8	7往復/週 7往復/週	B777-200ER B787-9	7往復/週 7往復/週	※6
成田＝デリー	2016年10月30日～	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	※7
成田＝マニラ	2016年10月30日～	B787-8	7往復/週	B777-200ER	7往復/週	※8
成田＝上海(浦東)	2016年10月30日～	B787-8 B767-300ER	14往復/週 7往復/週	B767-300ER B787-9	14往復/週 7往復/週	
成田＝大連	2016年10月30日～	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
成田＝ホノルル	2016年12月1日～	B767-300ER	14往復/週	B767-300ER B787-8	7往復/週 7往復/週	※9
成田＝北京	2016年12月1日～	B787-8	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
成田＝ムンバイ	2017年2月中旬～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	
羽田＝ホノルル	2016年10月30日～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	※10
羽田＝パリ	2016年10月30日～	B787-9	7往復/週	B787-8	7往復/週	※11
羽田＝上海(虹橋)	2016年10月30日～	B777-200ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
羽田＝マニラ	2016年12月1日～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	※12
羽田＝北京	2017年1月1日～	B787-9 B777-200ER	7往復/週 7往復/週	B787-9 B787-8	7往復/週 7往復/週	※13
羽田＝バンコク	2017年1月1日～	B787-8	14往復/週	B787-9	14往復/週	※14
羽田＝ソウル(金浦)	2017年2月1日～	B777-200ER B787-8	14往復/週 7往復/週	B787-8	21往復/週	

※6 10月30日からNH807/808をB787-9に機材変更予定。

※7 12月1日からB787-9に機材変更予定。当変更に伴い、12月1日よりプレミアムエコノミーサービスの提供を開始いたします。

※8 日本発火曜・水曜は、B787-8にて運航いたします。

※9 12月1日からNH184/183をB787-8に機材変更予定。

※10 機材変更に伴い、プレミアムエコノミーサービスの提供を開始いたします。8月29日よりプレミアムエコノミー席の販売を開始いたします。

※11 2月中旬からB787-9再投入予定。

※12 2月中旬からB787-8再投入予定。

※13 1月1日からNH963/964をB787-8に機材変更、2月中旬からNH961/962をB777-300ERに機材変更予定。

※14 機材変更に伴い、プレミアムエコノミーサービスの提供を開始予定です。サービス開始日が決まり次第、販売開始日とともにANA SKY WEBにてご案内いたします。

* 当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

3. 貨物専用便

需要動向に応じて、フレイター(貨物専用便)ネットワークの一部路線再編を図ってまいります。

(1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田－広州	2016年10月30日～	－	6片道/週	
広州－沖縄	2016年10月30日～	－	6片道/週	
関西－名古屋	2016年10月30日～	－	6片道/週	
沖縄－成田	2016年10月30日～	6片道/週	7片道/週	※1
成田－関西	2016年10月30日～	3往復/週	4往復/週	※2
関西－上海	2016年10月30日～	3往復/週	4往復/週	※2
上海－成田	2016年10月30日～	3往復/週	4往復/週	※2

※1 NCA エアラインチャーターで運航する成田＝沖縄 6 往復/週について、10 月 30 日より自社運航に変更した上で、沖縄－成田を 7 片道/週に増便いたします。

※2 2016 年 10 月 30 日～12 月 31 日及び 2017 年 2 月 16 日～3 月 25 日は 6 往復/週に増便。

(2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田－バンコク－ジャカルター－成田	2016年9月1日～	3往復/週	2往復/週	※3
成田＝広州	2016年10月30日～	7往復/週	1往復/週	
関西－沖縄	2016年10月30日～	12片道/週	6片道/週	
沖縄－シンガポール	2016年10月30日～	6片道/週	5片道/週	
シンガポール－成田	2016年10月30日～	1片道/週	－	
成田－名古屋	2016年10月30日～	6片道/週	－	

※3 ANA CARGO ニュース(2016 年 7 月 28 日付け)にて 9 月 1 日から 2 往復/週への減便を発表済み。

以上